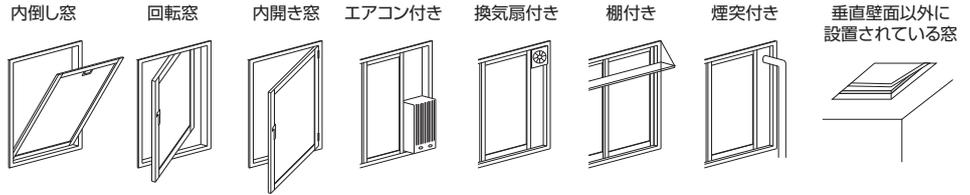


内窓のご注文・施工にあたってのご注意

■ 施工する外窓の窓種をご確認ください。

- ・内側に倒れたり、開く形式の窓には取付けできません。
例：内倒し窓・回転窓・内開き窓等。
- ・内側に造作を施してある窓には取付けできません。
例：エアコン、換気扇、棚、煙突等。



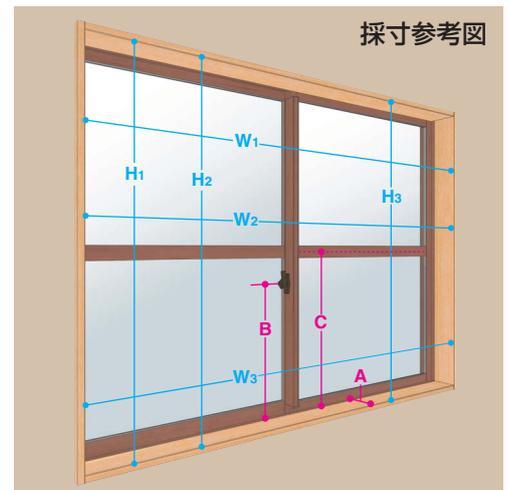
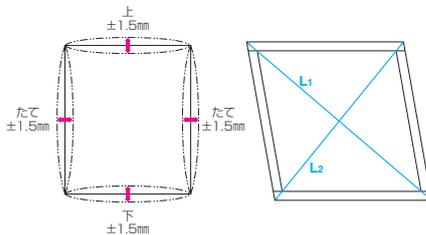
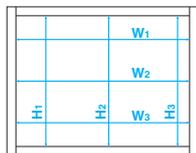
■ 窓台(下図のA部)の寸法をご確認ください。

窓種	窓台部必要寸法(mm)	窓台部寸法が必要寸法に足りない場合	その他
引違い窓	73	「ふかし枠」をご使用ください。*	外窓のクレセントが内窓にあたらないように取付けてください。(クレセントの回転軌跡や、外窓の内召合せ框の見込寸法によっては窓台必要寸法が変わります。)
内開き窓	73	「ふかし枠」をご使用ください。*	外窓のハンドルが内窓にあたらないように取付けてください。(ハンドルの出幅によっては窓台必要寸法が変わります。)
FIX窓	53	「ふかし枠」をご使用ください。*	ふかし枠70は使用できません。
開き窓テラス	73	「ふかし枠」をご使用ください。*	外窓のハンドル、ドアクローザーが内窓にあたらないように取付けてください。(ハンドル、ドアクローザーの出幅によっては窓台必要寸法が変わります。)
化粧額縁	85	部屋内側に造作材を取付けてください。	
直線方立	100		
コーナー方立	132		
段窓無目	95		

※掃き出しアタッチメントをふかし枠と併用する場合、ふかし枠25・40三方のとき→W-4、ふかし枠70三方のとき→W-8を掃き出しアタッチメントの商品出来寸とすると、ふかし枠に加工は不要が必要です。

11年2月訂正

■ 内窓取付部の基本寸法W、Hは最低3カ所(右図のW₁~W₃、H₁~H₃)で採寸し、最小値をW、Hとしてください。

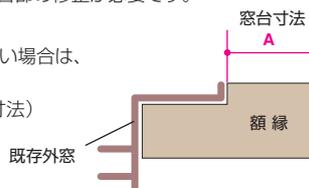


W、Hそれぞれの各採寸値の寸法差が3mm以上の場合は窓台部の修正が必要です。

※外窓と「ブラマードU」のクレセント、中棧の位置を合せたい場合は、右図のB・C寸法を正確に採寸してください。

B：クレセント位置(窓台上面よりクレセント中心までの寸法)
C：中棧位置(窓台上面より中棧中心までの寸法)

※C-B>65mmになるようにしてください。



※B<122mmの場合、クレセント位置のオーダーはできません。

※クレセント、中棧標準位置、引手、ハンドル位置についてP.34をご参照ください。

※クレセント位置をオーダーする場合、引手の位置も連動します。

※引違い窓クレセント無仕様の場合、基本性能は保証できませんので、その内容を了解していただいたうえでの特注仕様となります。

■ 調整について

引違い窓

- 枠は左右方向で3mmの調整が可能です。
- 障子は下部の戸車調整ねじで4mm調整可能です。
- クレセントはねじを緩めると上下4mmずつ調整可能です。
- クレセント受はねじを緩めると左右に2mmずつ調整可能です。

内開き窓

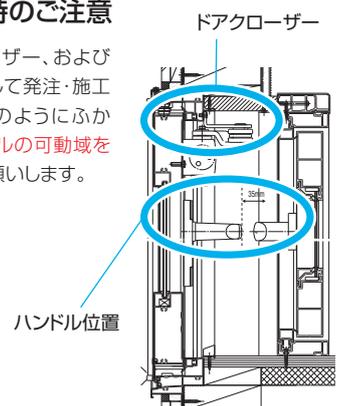
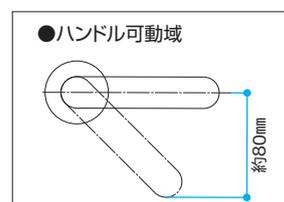
- 丁番は建付調整可能です。

■ 施工時のご注意

※施工時にすき間がある場合は、シーリング材でふさいでください。

■ 開き窓テラス取付け時のご注意

開き窓テラスと既存のドアクローザー、およびハンドルが干渉しないことを確認して発注・施工してください。干渉する場合は図のようにふかし枠をご使用いただくか、ハンドルの可動域を考慮したハンドル位置の指定をお願いします。



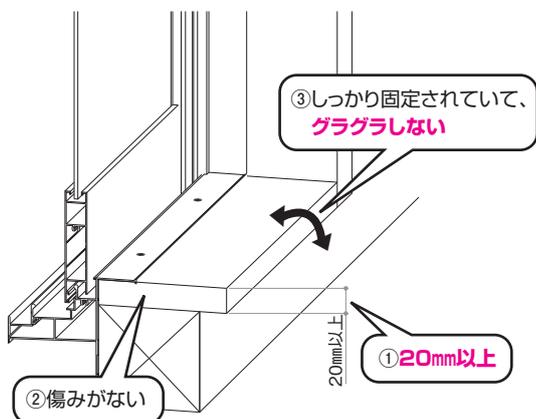
ふかし枠取付け時のご注意

■ ふかし枠施工にあたって

ふかし枠を施工する場合、以下の項目についてご確認ください。以下の状態でない、障子脱落の可能性があるので、商品施工時の補強が必要となります。

■ 採寸時のご注意

- ① 木額縁見付20mm以上あること
- ② 木額縁に傷み(腐朽・割れ)がないこと
- ③ 木額縁が窓台にしっかり固定されていること

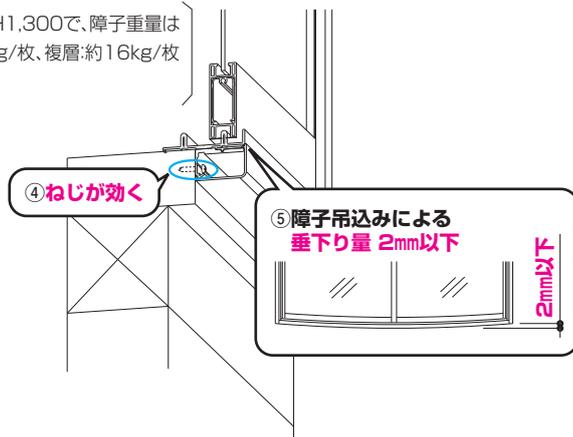


■ 施工時のご注意

- ④ 木額縁にねじが効くこと
- ⑤ 障子吊込みによる下枠垂下り量2mm以下であること

上記にひとつでも当てはまらない場合は、補強例を参考に、額縁の補強を十分に行ってください。

W1,600×H1,300で、障子重量は
単板:約10kg/枚、複層:約16kg/枚
となります。

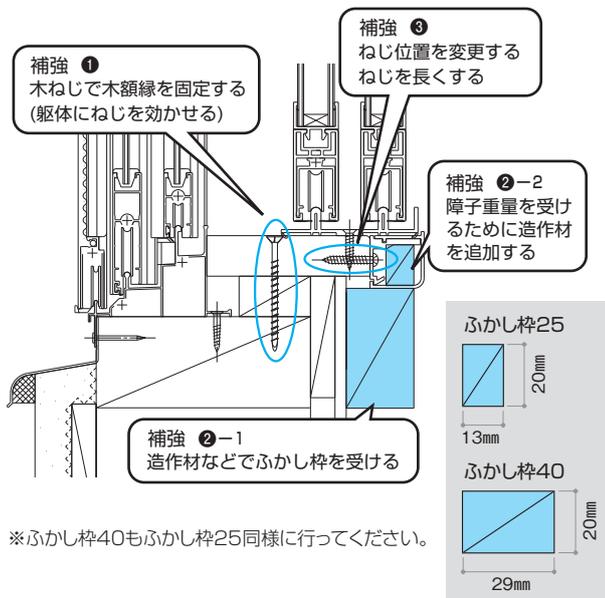


※カーテンレール対応ふかし枠の場合は、下枠部と同様に上枠部にも荷重が加わります。上枠部においても、上図の施工ポイントに注意して施工してください。

■ 補強例

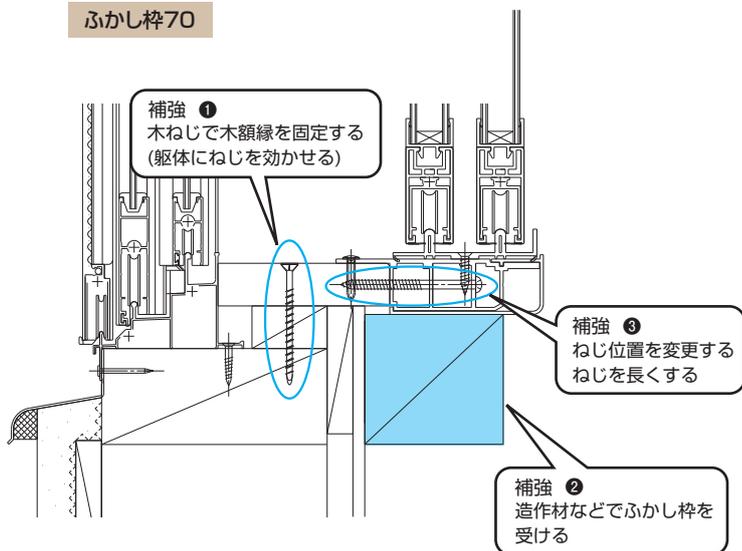
補強①②③を全て行ってください。

ふかし枠25・40



※ふかし枠40もふかし枠25同様に行ってください。

ふかし枠70



注意 ふかし枠70は、窓タイプの四方およびフロア納まりの三方を標準としています。テラス納まりで立ち上がりがある場合には必ず補強台が必要となります。製作範囲(P.39)、納まり図(P.49)をご確認のうえ、発注・施工をお願いします。

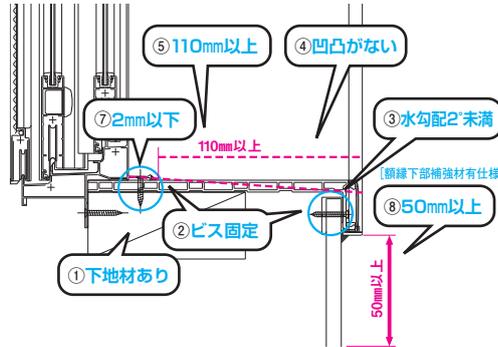
浴室仕様取付け時のご注意

ユニットバス納まり用

- ① 下図のように、下地材があること（外窓がアングル付枠の場合、下地材がピッチで入っていたり、出入り方向に対して入っていること）
→下地センサーなどを用いて、下地材があることを確認してください
- ② 樹脂額縁が2ヶ所（アングル部、見付け面部）でビス固定されていること
- ③ 下額縁の水勾配は、2°未満であること
→2°以上の場合は、調整材などで下枠が水平になるように取付けてください
- ④ 樹脂額縁に凹凸がないこと
- ⑤ アングルから額縁先端まで110mm以上であること
- ⑥ 開口の狂いが3mm以下であること（図1～3）
- ⑦ 既設アングルの立上り寸法が2mm以下であること

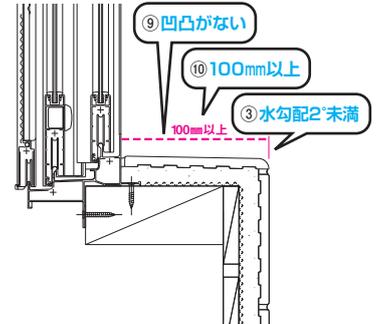
【額縁下部補強材有仕様】

- ②の見付け面部でビス固定されているのが確認できない場合、額縁下部補強材有仕様を使用してください。
- ⑧ 下樹脂額縁の下部に50mm以上空間があること（浴槽や手すりがないこと）



タイル納まり用

- ③ 下額縁の水勾配は、2°未満であること
→2°以上の場合は、調整材などで下枠が水平になるように取付けてください
- ⑥ 開口の狂いが3mm以下であること（図1～3）
- ⑨ 額縁開口部に凹凸がないこと
- ⑩ 枠の内面から100mm以上あること



- 図1のH1～H3およびW1～W3の寸法差が3mm以下であることをご確認ください。
 - 上下左右のたわみが図2に示す範囲内であることをご確認ください。
 - 図3の対角差が3mm以下であることをご確認ください。
- ※浴室乾燥機等、浴室内が高温になるときは、障子の開閉を避けてください。面材の反りにより開閉できないことがあります。

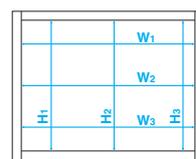


図1

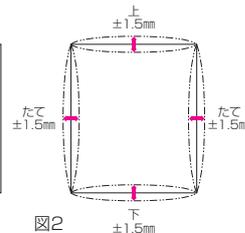


図2

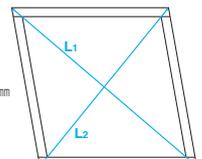
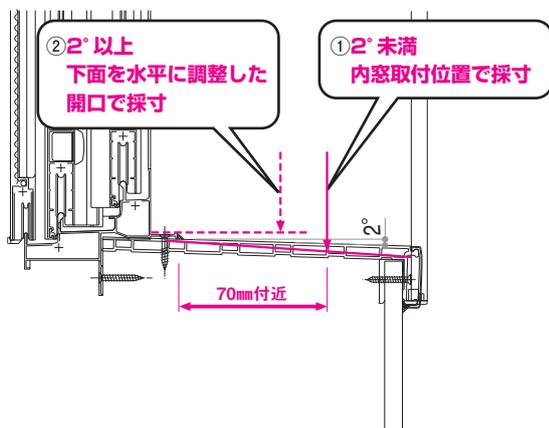


図3

■ 浴室仕様採寸時の注意点

下図のように、水勾配がある場合

- ① 2°未満→内窓を取付ける位置（70mm付近）で採寸してください。
 - ② 2°以上→下面を水平に調整した開口で採寸してください。
- ※水勾配が2°以上で、下面を調整せずに室内側の開口を採寸した場合、障子が吊り込めない可能性があります。



■ 浴室仕様 下枠調整方法 水勾配2°の目安

水勾配が2°以上の場合は、調整材（オプション）などを用いて、下枠アタッチメントを水平に取付けてください。
※水勾配2°の目安は、外窓アングル部から100mm付近で調整材（オプション）を3枚重ねて（3mm）下枠アタッチメントがほぼ水平になる角度です。

